

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
座間市	座間市全域	令和3年3月3日	令和3年3月3日

### 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	214ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	162ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	112ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	20ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	30ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計 (備考)	23.8ha

注1:③の「70才以上」には、地域の実情に応じて、5～10年後の農地利用を議論する上で適切な年齢を記載します。

注2:④の面積は、下記の「(参考)中心経営体」の「今後の農地の引受けの意向」欄の「経営面積」の合計から「現状」欄の「経営面積」の合計を差し引いた面積を記載します。

注3:アンケート等により、農地中間管理機構の活用や基盤整備の実施、作物生産や鳥獣被害防止対策、災害対策等に関する意向を把握した場合には、備考欄に地区の現状に関するデータとして記載してください。

注4:プランには、話合いに活用した地図を添付してください。

### 2 対象地区の課題

農業従事者の高齢化が進んでいる。  
後継者についても、未定及び不明の農業者が多く、その内、貸付け意向が確認された農地は約48haとなっている。  
新規就農者等、新たな農地の受け手の確保が必要。

注:「課題」欄には、「現状」を基に話合いを通じて提示された課題を記載してください。

### 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

水田利用については、中心経営体同士で調整し集約を進めていく。  
農地中間管理機構を活用した集積を進めていく。

畑利用については、中心経営体同士で調整し集約を進めていく。  
また、後継者の育成及び新規就農者の受入れを積極的に行っていく。

注1:中心経営体への農地の集約化に関する将来方針は、対象地区を原則として集落ごとに細分化して作成することを想定していますが、その「集落」の範囲は、地域の実情に応じて柔軟に設定してください。

注2:「中心経営体」には、認定農業者、認定新規就農者、経営所得安定対策の対象となる法人化や農地の利用集積を行うことが確実と市町村が判断する集落営農及び市町村の基本構想に示す目標とする所得水準を達成している経営体等が位置付けられます。

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
認農	A	水稲、野菜、花卉	6.8 ha	水稲、野菜、花卉	7.0 ha	座間市全域
認農	B	水稲、野菜	3.8 ha	水稲、野菜	5.4 ha	座間市全域
認農法	C	養豚	- ha	養豚	- ha	座間市全域
認農	D	水稲、野菜	1.5 ha	水稲、野菜	1.5 ha	座間市全域
認農	E	水稲、野菜	1.4 ha	水稲、野菜	1.4 ha	座間市全域
認農	F	イチゴ、メロン、野菜	0.8 ha	イチゴ、メロン、野菜	0.8 ha	座間市全域
認農	G	水稲、花卉	1.5 ha	水稲、花卉	2.2 ha	座間市全域
認農	H	鉢物	0.3 ha	鉢物	0.3 ha	座間市全域
認農	I	花卉	0.1 ha	花卉	0.2 ha	座間市全域
認農	J	水稲、野菜、花卉	1.1 ha	水稲、野菜、花卉	1.3 ha	座間市全域
認農法	K	花卉	0.4 ha	花卉	0.4 ha	座間市全域
認農	L	水稲、野菜	0.7 ha	水稲、野菜	1.1 ha	座間市全域
認農	M	鑑賞樹	0.7 ha	鑑賞樹	0.7 ha	座間市全域
認農	N	鑑賞樹	0.6 ha	鑑賞樹	0.9 ha	座間市全域
認農	O	水稲、野菜	1.3 ha	水稲、野菜	1.3 ha	座間市全域
認農	P	水稲、麦、野菜	3.2 ha	水稲、麦、野菜	4.3 ha	座間市全域
認農	Q	野菜	1.1 ha	野菜	1.4 ha	座間市全域
認農	R	野菜	0.9 ha	野菜	1.1 ha	座間市全域
認農	S	水稲、野菜、果樹	2.2 ha	水稲、野菜、果樹	2.7 ha	座間市全域
認農	T	水稲、野菜	12.0 ha	水稲、野菜	20.0 ha	座間市全域
認農	U	水稲、野菜	1.0 ha	水稲、野菜	2.2 ha	座間市全域
認農	V	水稲、野菜	1.0 ha	水稲、野菜	1.5 ha	座間市全域
認農	W	水稲、野菜	1.9 ha	水稲、野菜	2.3 ha	座間市全域
認農	X	水稲、野菜	1.2 ha	水稲、野菜	1.5 ha	座間市全域
認農	Y	野菜	7.4 ha	野菜	8.0 ha	座間市全域
認農	Z	野菜	0.8 ha	野菜	1.7 ha	座間市全域
認農	A1	水稲、野菜	0.3 ha	水稲、野菜	6.0 ha	座間市全域
認農	A2	水稲、野菜	0.8 ha	水稲、野菜	1.4 ha	座間市全域
計	28人		54.7 ha		78.5 ha	

注1:「属性」欄には、個人の認定農業者は「認農」、法人の認定農業者は「認農法」、認定新規就農者は「認就」、法人化や農地集積を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」と記載します。

注2:「今後の農地の引受けの意向」欄については、現状からおおむね5年から10年後の意向を記載します。

注3:「経営面積」欄には、プランの対象地区内における中心経営体の経営面積を記載します。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

中間管理機構を積極的に活用し、効率的に集約化を進めていく。
関係機関と連携し新規就農者の確保及び後継者の育成を進める。

(留意事項)

本様式をそのまま公表様式として活用する場合には、中心経営体の氏名等特定の個人が識別される情報が含まれることから、本人の同意を得る等個人情報保護条例等に抵触しないよう留意してください。

なお、本人の同意が得られない場合には、その方の氏名を伏せるなど、個人が識別されないよう留意してください。